

4-(1) これまでの議論を踏まえた市の取組状況について

ア ゼロカーボンの取組みについて . . . 1

担当課：環境・地域エネルギー課

イ サイクルツーリズムの取組みについて . . . 10

担当課：自転車推進課

ウ グリーンインフラの取組みについて

担当課：森林環境課 . . . 29

担当課：都市計画課 . . . 34



ゼロカーボンの取組みについて



環境・地域エネルギー課

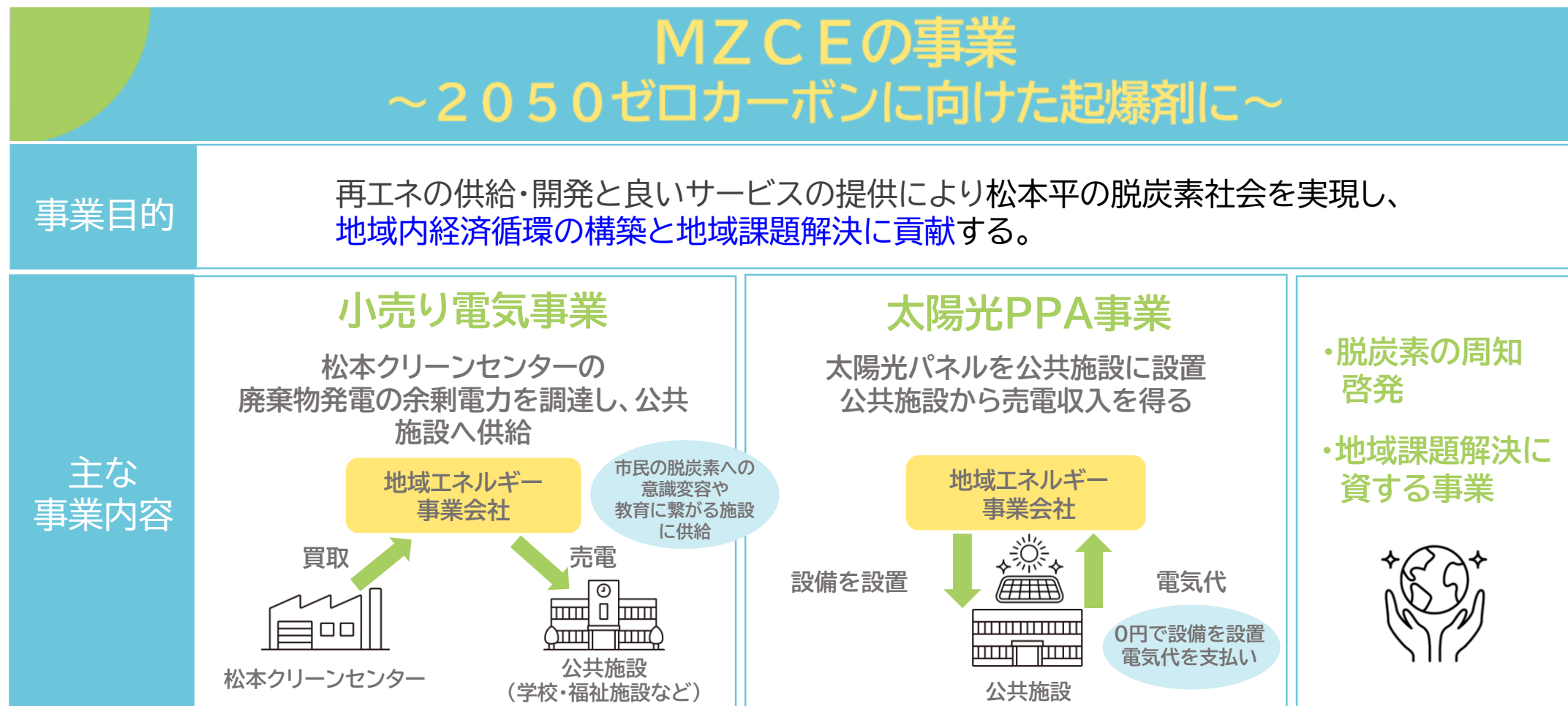
ゼロカーボン市民アクションプラク in まつもと



I 松本市のゼロカーボン実現に向けた近年の取組み

年度	これまでの松本市の主な取組み	松本市の脱炭素プロジェクト“4本柱”	
R 2 (2020)	・ 気候非常事態宣言及び2050ゼロカーボンシティを表明	◆松本市ゼロカーボン実現条例 ▶2050ゼロカーボンの実現を目指す理念条例で、R4年6月議会で制定 ▶第11条(太陽光発電の適正導入)を規定する新たな条例をR6年4月から施行	◆松本平ゼロカーボン・コンソーシアム ▶産学官金連携の組織としてR4年2月に設立 ▶117団体が参加(R8.5月末現在)
R 3 (2021)	・ 松本市環境部が「環境エネルギー部」に組織再編 ・ 第11次基本計画においてゼロカーボンを重点戦略として位置づけ ・ 松本平ゼロカーボン・コンソーシアム(MZCC)設立		
R 4 (2022)	・ 脱炭素先行地域として採択 ・ 松本市ゼロカーボン実現条例制定 ・ 松本市役所ゼロカーボン実現プラン(事務事業編)策定 ・ まつもとゼロカーボン実現計画(区域施策編)策定	◆地域エネルギー事業会社 ▶電力小売事業や再生可能エネルギーの導入に関する事業で中心的役割 ▶地元企業が中核となり、R6年8月設立	◆脱炭素先行地域(モデル形成) ▶山型 乗鞍高原地域が脱炭素先行地域に採択 ▶街型 波田駅周辺地区で再エネ導入等を検討
R 5 (2023)	・ 路線バスを公設民営化		
R 6 (2024)	・ 松本市の豊かな環境を守り適正な太陽光発電事業を推進する条例施行 ・ 松本市ゼロカーボン推進本部設置 ・ 松本平ゼロカーボンエネルギー株式会社(MZCE)設立(他7者と共同出資) ・ 気候市民会議まつもとを開催、ゼロカーボン市民アクションプラン in まつもとが完成		
R 7 (2025)	・ 上位計画である第12次基本計画、環境基本計画において「市民アクションプランの市民運動への展開」を位置づけ ・ ゼロカーボン市民アクションプラン in まつもとを施策の中軸に位置づけ、施策パッケージを予算化 ・ 脱炭素先行地域の辞退を表明		
R 8 (2026)	・ ゼロカーボン市民アクションプラン in まつもとを広範な市民運動へ広げるため「 ゼロカーボン市民アクションプラン推進パッケージ1.0 」として公表、展開		

2 松本平ゼロカーボンエネルギー株式会社 (MZCE)



✓ フェーズ1




✓ フェーズ2

R6～（立上げ期） 公共施設で実証、ノウハウ蓄積

R9～（展開期） 一般家庭/民間企業への展開開始、電源調達範囲内で電力供給を拡大


✓ 令和7年度～


松本クリーンセンターの廃棄物発電由来の再エネ電気を市内小中学校等57施設に供給開始




当施設は
松本クリーンセンターで発電された
再エネ電気で稼働しています


MZCEは「松本平ゼロカーボンエネルギー株式会社」の略称で、地域内における再エネの開発、調達、供給等、脱炭素に関連する事業を担う官民連携の地域エネルギー事業会社です。



 **松本市は2050ゼロカーボンを目指します**



ゼロカーボン
市民アクションプラン
in まつもと



施設名	
小学校 28校	旭町小、梓川小、今井小、岡田小、開智小、開明小、鎌田小、現地小、寿小、四賀小、芝沢小、島内小、島立小、清水小、菅野小、田川小、筑摩小、中山小、並柳小、波田小、二子小、本郷小、明善小、山辺小、芳川小、安曇小中、大野川小中、奈川小中
中学校 17校	会田中、旭町中、梓川中、開成中、鎌田中、清水中、信明中、菅野中、高綱中、筑摩野中、波田中、松島中、丸の内中、明善中、女鳥羽中、山辺中、組合立鉢盛中
その他 12施設	松本城、松本市立博物館、エア・ウォーターアリーナ松本、中央図書館、こどもプラザ（筑摩）、大手公民館、第三地区公民館、宮渕浄化センター、両島浄化センター、城山介護老人保健施設、北部福祉複合施設、情報創造館庁舎

✓ 令和8年度～

市有施設2施設でオンサイトPPAを導入開始

2 気候市民会議まつもと

- ・ 無作為抽出により参加者を募集
- ・ 松本市の縮図となる地域や年齢が多様な約50名が参加
- ・ 全6回開催
- ・ 「ゼロカーボン市民アクションプラン in まつもと」として50の市民アクションを平易な言葉で取りまとめ



第6回 気候市民会議

ゼロカーボン

ZERO CARBON

市民アクションプラン

in まつもと



スタート地点

「じぶんごとプラネット」というコンテンツで自分のCO₂排出量を計算することができます！

1 気候変動対策の入口へ一歩踏み出そう！

- 気候変動を身近に感じる機会に参加しよう
- アプリなどを使って、自身や家庭のCO₂排出量を「見える化」してみよう
- 市民が気候変動対策を進めるための相談窓口を活用するなどして、自分ができる気候変動対策を把握しよう



再生可能エネルギー

松本市では太陽光発電設備の補助金もあります！また、初期費用がかからない「0円ソーラー」も選べます！

2 自宅の電力を太陽光発電で自給できるって、すごい！

- 信州屋根ソーラーポテンシャルマップで自宅の発電可能性を確認しよう
- 自宅の屋根等に太陽光発電を検討・導入しよう
- ライフスタイルに合わせて電気自動車(EV)や蓄電池を活用しよう

3 再エネ比率の高い電力を選べるって、知ってる？

- 発電メニューで電力会社を比べて選べることを知ろう
- 再エネ比率の高い電力を選択しよう

4 電力も地産地消ができるっていいな！

- 地域に必要な再エネの量を知り、地域の特性に合った導入を検討しよう

- 災害時の自立など地域の課題解決につながる取り組みを支持し、市民としての関わり方を見つめよう
- 地域主導の再エネ事業を応援しよう

5 熱も再エネで賄えたら、心も身体もあたたまる！

- 太陽熱温水器やおひさまエコキュートを検討・導入しよう
- 薪やペレットなど木質バイオマスストーブを検討・導入しよう

6 再エネで暮らしを豊かにする方法、知っていませんか？

- 再エネに関して総合的な情報を扱うウェブサイトや広報紙にアクセスしよう
- 住まい方やライフスタイルに合わせた再エネの活用方法や経済的メリットがあることを知ろう



住まい

ZEHとは、太陽光パネルなどを取り付けて、年間のエネルギー消費量を実質ゼロにした住宅のことです。

7 自宅のエネルギー使用量、考えてみたことある？

- 自宅の室温や電気・燃料の使用量を把握し、できることを家庭や所属するコミュニティで共有しよう
- 住宅のエネルギー効率化(省エネ)について専門家に相談してみよう

8 断熱が効果的って、もっと広げたい！

- 断熱に関する情報・メリット・方法を共有し、実践する仲間を増やそう
- 断熱ワークショップを地元企業と連携したりして企画・実行しよう

9 ゼロカーボンにつながる住宅、あるんです！①ZEHという選択

- 新築時にはゼロエネ住宅(ZEH)を選択しよう
- リフォーム時にもゼロエネ住宅を検討・選択しよう

10 ゼロカーボンにつながる住宅、あるんです！②既存住宅の断熱化

- 住宅の断熱改修の可能性を調べよう
- 開口部(例えば窓)などを重点的に工夫して断熱しよう

11 賃貸・中古住宅でもゼロカーボンを実現したい！

- 賃貸・中古住宅を検討する際に、断熱性能の高い住宅を選択しよう
- 賃貸・中古住宅を検討する際に、不動産業者に物件の断熱性能を確認し、断熱住宅の需要が高いことを知らせよう



ゼロカーボンってなに？

ゼロカーボンとは、企業や家庭が排出する二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林・森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、排出量の合計を実質的にゼロにすることを意味します。



このまま何もしないと、猛暑日、熱帯夜が増え、冬日は少なくなります。また滝のように降る雨が增え、一方降水の無い日も増えています



交通・EV普及

サイクルツーリズムとは、自転車を利用した観光を指します。

12 公共交通をもっと利用すれば、もっと充実させられる！

- 公共交通とゼロカーボンが繋がっていることを知ろう
- 公共交通の利用回数を月2回以上増やそう
- さらに利用を増やして公共交通機関の自動車のEV化を求めよう

13 電気自動車(EV・PHEV)でゼロカーボンドライブ！

- 市のEVカーシェア事業などを通してEVを体験してみよう
- 自動車を買換える時にはEVを選択しよう
- 充電環境がまだ整わない人はハイブリッド車などエコカーを選択しよう

14 徒歩や自転車で移動を楽しもう！

- 徒歩移動の魅力や効用を発見し、街歩きを楽しもう
- 個人所有の自転車だけでなくシェアサイクルを活用しよう
- サイクルツーリズムなど自転車を活用した街の魅力を広めよう

15 ゼロカーボンにつながるまちをつくらう！

- 移動に伴うCO₂排出量を把握しよう
- バイク&ライドなど自動車に頼らない移動手段を考えて実行しよう
- エコ通勤・通学にできることから取り組みよう



気候変動適応・ライフスタイル

気候変動への「適応」とは、現実や予想される気候及びその影響に対して自然や人間社会のあり方を調整していくことです。

16 気候変動への「適応」について、一緒に学ぼう！

- 気候変動によって松本に生じている変化について知ろう
- 気候変動対策を地域課題解決と合わせて考えてみよう
- 気候変動の体験を地域で共有しよう

17 農ある松本の暮らしを持続させよう！

- 農業・農産物に関心を持とう
- 地元で作ったものを食べよう
- 規格外農産物を積極的に消費しよう

18 私たちの日々の消費がゼロカーボンにつながる！

- ものを買うときに地産地消を意識しよう
- 運送輸送にかかるCO₂を知り、物流の環境負荷を小さくしよう
- 家電製品を買換える時には省エネ型の製品を選択しよう

19 ごみの削減、資源循環にいっそう取り組みよう！

- 3R(リユース、リデュース、リサイクル)を徹底しよう
- 食品ロスについて学び、実践しよう

20 里山も街も緑を充実させよう！

- 森林吸収源としての役割が果たせるよう森林保全に地域で取り組みよう
- 身近な生活環境に緑を充実させよう



ゼロカーボン市民アクションプラン in まつもと

気候市民会議まつもと



50の市民アクション



ゼロカーボン市民アクションプラン in まつもと

知ろう！聞こう！始めよう！

- ✓ 知ろう！
- ✓ 聞こう！
- ✓ 始めよう！

まずは気候変動や脱炭素を学ぶ
仲間や専門家に相談しながら考える
できることから実践する



ゼロカーボン市民アクションプラン推進パッケージ1.0

(対象：全市民 メインターゲット：Z世代～子育て世代 (2050年に中堅・社会を動かす方々))

一人ひとりが行動できる市民運動へと展開するため、

全部局による総合的なパッケージにより、2050年ゼロカーボンシティを実現します

知ろう！ (認知拡大)	聞こう！ (相談支援)	始めよう！ (実行支援)
92事業	2事業	62事業

合計156事業

主な新規事業

- ✓ 次世代環境アクションリーダー養成事業
- ✓ まつもとくらしと気候のゼロカフェ

- ✓ 住まいのゼロカーボン相談カウンター
- ✓ 再生可能エネルギー電力切替奨励金

ご清聴ありがとうございました。

2050ゼロカーボンシティ実現に向け引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。



上高地



美ヶ原

松本市は、市民憲章で「自然を愛し、美しいまちをつくりましょう」とうたっています。

私たちの暮らしや産業は、豊かな自然の恵みの上に成り立っています。

ゼロカーボンとは、このかけがえのない自然と、子どもたちの未来を守るための取り組みです。



令和 8 年度 第 1 回 松本 「シンカ」 推進会議

サイクルツアーリズム推進の取り組み

自転車を楽しむ三ガク都まつもとへ



自転車推進課

目次

1. 前回会議の振り返り	p.2
2. 意見の反映状況	p.5
3. 実施施策	p.10
4. 成果	p.14
5. 課題	p.16
6. 今後の展開	p.17

1. 前回会議の振り返り



サイクルツーリズム（自転車による観光振興策）について

- 自転車活用推進法（H28施行）により、国は自転車の活用を総合的・計画的に推進
 - ▶ R3に策定した第2次自転車活用推進計画では、「**サイクルツーリズムの推進による観光立国の実現**」を目標の一つに設定
- 長野県においても、第2次長野県自転車活用推進計画（R5策定）により、自転車を活用した観光地域づくりを推進
 - ▶「Japan Alps Cycling Road」の整備

Japan Alps Cycling Road



サイクルツーリズムの主な種類

- 参加型** … 特定のコースを多人数で走るイベント
- 観戦型** … ロードレース等の開催により集客をはかるもの
- 設置型** … サイクリングロード等のインフラ整備による集客
- ツアー型** … 自転車の活用を中心とした観光旅行
- 企画型** … サイクルトレインの運行など

観光来訪の促進

地域活性化

国際交流

新たな観光資源の掘り起こし

環境負荷軽減

アンダーツーリズムの推進

健康増進

自転車利用の促進による渋滞解消

などの効果に期待

1. 前回会議の振り返り



松本市における取組みの状況

● 「松本市自転車活用推進計画」(R3策定) → 4つの計画目標に基づき自転車を楽しむまちづくりを目指す

① 自転車を活用した人中心の
通行空間・都市環境づくり

- 自転車通行環境の整備
- シェアサイクルの普及促進 など

② 歩行者や自転車事故のない
安全で安心なまちづくり

- 自転車安全教育の推進
- ヘルメット着用促進 など

③ 市民の自転車利用による
脱炭素・健康まちづくり

- 自転車通勤の推進
- 自転車を活用した健康づくり など

④ サイクルツーリズムの推進
による観光まちづくり

- サイクリング大会等の実施
- サイクリング環境の整備 など

サイクルツーリズムに取り組むメリット・意義

松本市の潜在能力 = 自然・文化

- ◆ 山岳・河川・歴史的な名所など魅力あるロケーション
- ◆ 温泉・グルメ
- ◆ 多彩なサイクリング環境
(観光コース、ヒルクライム、MTB など)

競争優位性

- ◆ 大都市圏からのアクセス
- ◆ 各種大会、イベントの開催実績があり、知名度が高い
(ツール・ド・美ヶ原、乗鞍ヒルクライム、アルプスあづみの
センチュリーライド など)

高い経済効果が期待できる

サイクルツーリズム推進のための受入環境整備の方向性

ゲートウェイ
(松本駅・空港)

- ◆ サイクルステーション整備
- ◆ 駐輪環境整備

サイクリング
コース

- ◆ 通行空間、観光コース整備
- ◆ サイクルステーション整備

宿泊施設

- ◆ サイクリスト受入環境整備
- ◆ 情報発信



1. 前回会議の振り返り



【グループ検討まとめ②】 サイクルツーリズムの推進

ターゲットに合わせた施策の推進

本格派層

- 高額な自転車を安心して保管できる置場の整備 ▶ 民間による整備促進のための補助制度
- サイクルトレインや自転車が乗せられるバスなど、既存交通インフラの活用
- 本格的なサイクルツーリズムは長時間・長距離のため、サポートカーが必要

一般・ファミリー層

- 子どもや家族連れが気軽に楽しめるコースの整備 ▶ 子どもをターゲットにした取組みにより、将来的な自転車人材の育成にもつなげる
- シェアサイクルの充実

インバウンド

- 交通ルールを含めた安全面が課題 ▶ 日本の交通ルール等を学びながら観光できるツアーの造成
- 普通の田舎暮らしを求める声への対応 ▶ 里山の暮らしを体験できるツアーの造成
- 多言語化対応（案内サイン等）

その他の意見

- 新たな自転車レースやイベントの検討 ▶ 松本ならではの山岳コースを最大限活用
▶ 大町や高山とも連携した「ツール・ド・北アルプス」など
- 街道の移動は自転車、魅力的な路地が多いまちなかの移動は歩きという観光スタイルの確立
▶ 自転車施策を進めることで、「歩く」ことにつながる
- 旅行中の事故等に備えた自転車保険（旅行用に手軽に加入できる短期のものなど）
- サイクルツーリズム推進のためには、まずは地元の人が自転車に乗ること（説得力が増す）



2. 意見の反映状況（本格派層）



意見①

高額な自転車を安心して保管できる置場の整備

- ・令和6年度から「サイクリストに優しい宿」の認定制度を開始し、客室や屋内で自転車を保管できる等、サイクリストに寄り添ったサービスを提供する施設の情報を発信しています。
- ・令和5年度、令和8年度に長野県で、サイクリストの受入環境の整備に関する補助制度が創設され、本市では、関係各所に周知をしました。



意見②

サイクルトレインや自転車が乗せられるバス等、既存交通インフラの活用

- 本市HP及び観光公式HP「松本旅のしらべ」に、以下のサイクルトレインやバスへの自転車積載サービスについて、情報を掲載しました。
- ・アルピコ交通上高地線で、サイクルトレインのサービスを実施
 - ・アルピコ交通の路線バス、特急バス、昼行便の高速バスで、専用の袋に入れた自転車をトランクで預かるサービスを実施



2. 意見の反映状況（本格派層）



意見③

本格的なサイクルツーリズムは長時間・長距離のため、サポートカーが必要

令和7年度から「サイクリングオアシス」の認定制度を開始し、サイクリストが気軽に立ち寄れる市内の店舗や施設の情報を発信しています。

自転車店に当制度への協力を求め、地域におけるサポート体制の強化を図ります。



2. 意見の反映状況（一般・ファミリー層）



意見④

子どもや家族連れが気軽に楽しめるコースの整備

信州スカイパークにおいて、園内で楽しめるサイクリング用の自転車やおもしろ自転車をレンタルしており、子どもや家族連れが気軽に自転車を楽しめるサービスを提供しています。

本市HPにおいて、情報の発信をしています。

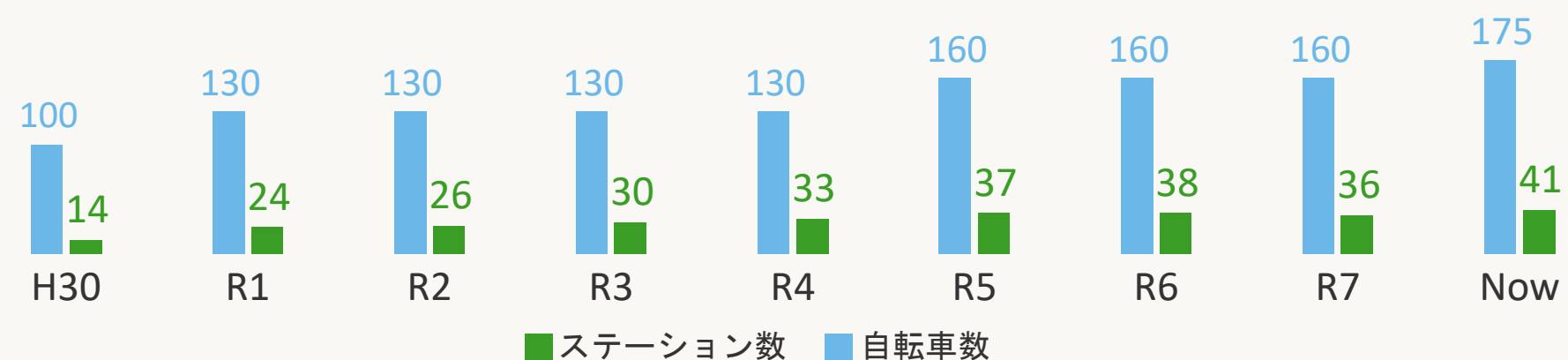


意見⑤

シェアサイクルの充実

- ・令和6年度に、スポーツタイプの電動アシスト付自転車「e-BIKE」の専用ステーションを開設しました。
- ・シェアサイクルステーション及び自転車の台数の拡充を図っています。

シェアサイクル拡充の推移



2. 意見の反映状況（インバウンド）



意見⑥

交通ルールを含めた安全面が課題

- ・長野県で作成した交通ルールに関するチラシ（英語・中国語）を松本駅サイクルステーションにて掲示・配架し、周知に取り組んでいます。
- ・シェアサイクル利用者向けの周知方法について、シェアサイクル運営事業者と検討をしています。



意見⑦

普通の田舎暮らしを求める声への対応

- ・ SatoyamaVilla本陣やMatsumotoExperience等の事業者が、里山を巡るサイクリングツアーを実施しています。
- ・令和7年度に、農政課や松本観光コンベンション協会等と連携して、農業体験とサイクリングを組み合わせたツアーを3回催行しました。
今後もイベントとサイクリングを組み合わせたツアーの実施を検討します。





2. 意見の反映状況（インバウンド）

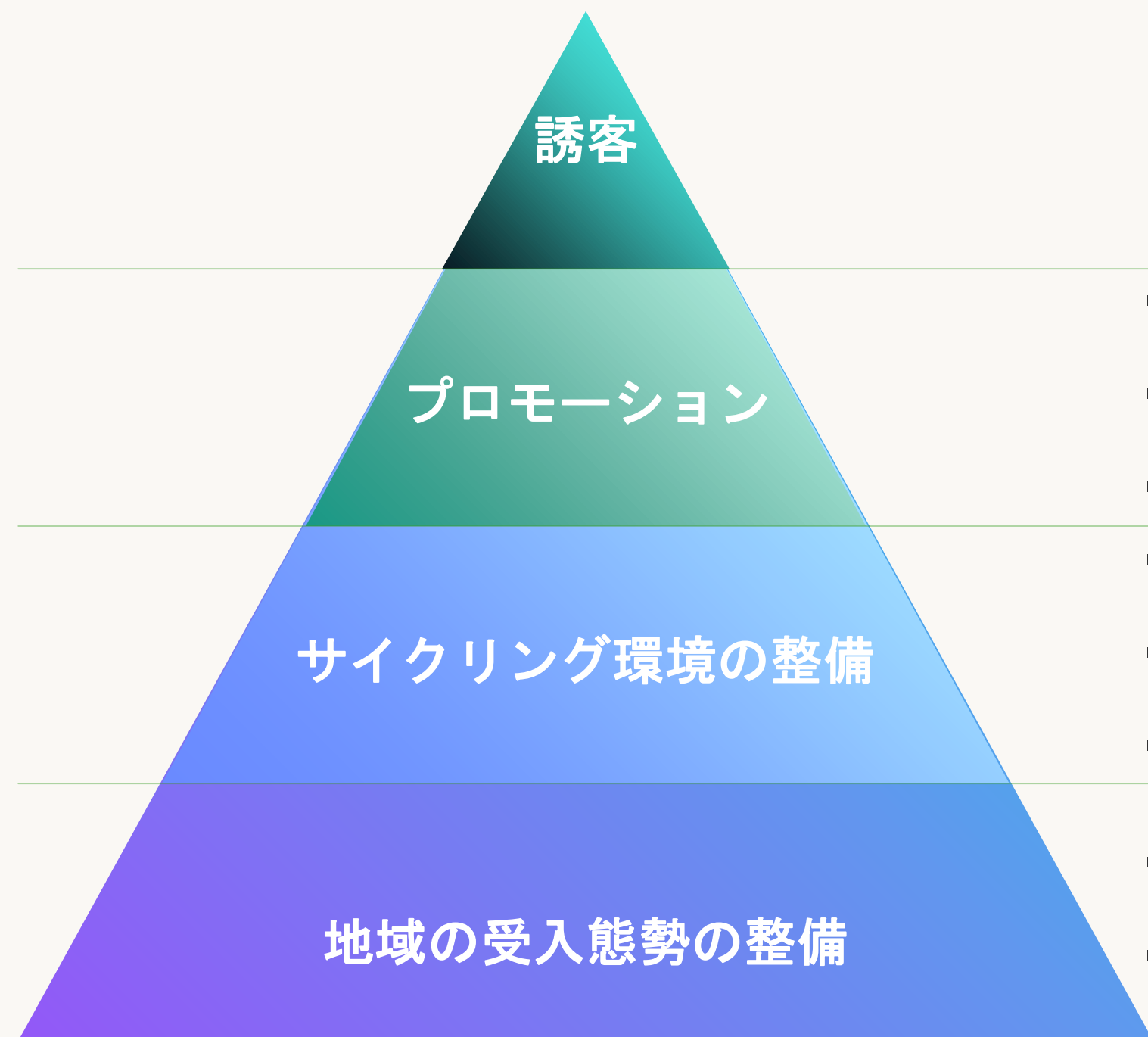
意見⑧

多言語化対応（案内サイン等）

- ・令和6年度に、観光サイクリングルート「絶景めぐりルート」を整備した際、路面標示に英語を併記しました。
- ・令和元年度以降、JapanAlpsCyclingRoadの案内看板や矢羽根マークが順次整備され、看板及び路面標示には英語を併記しています。

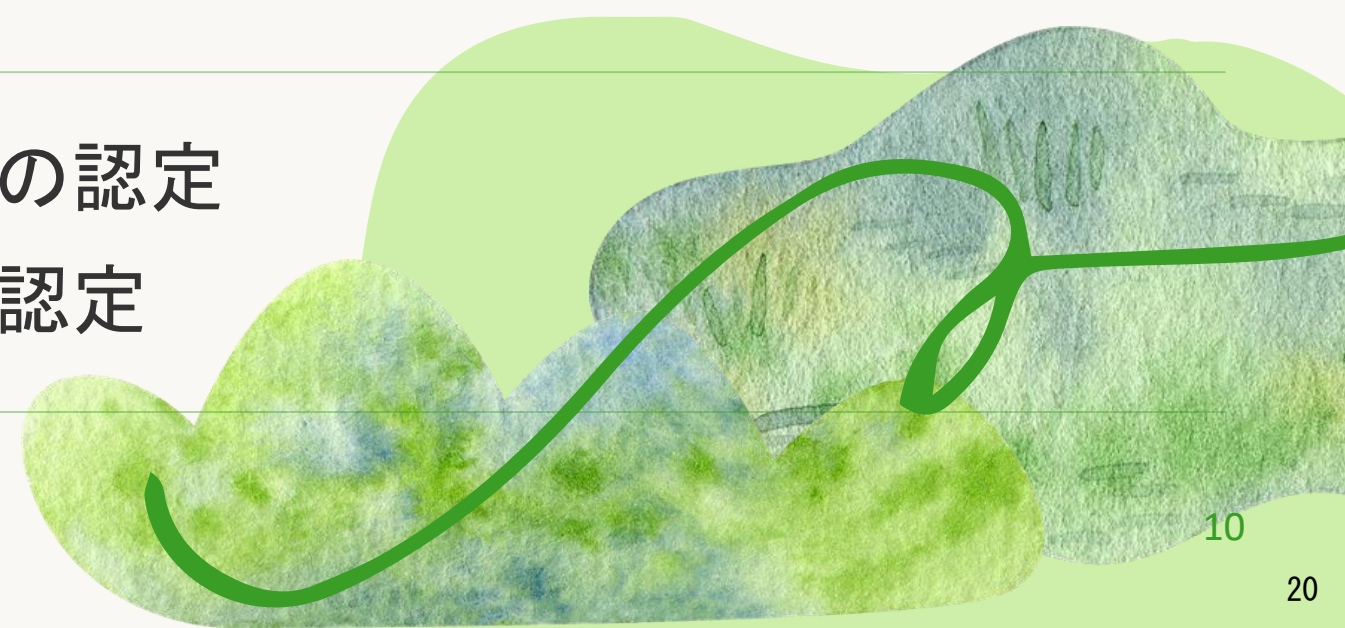


3. 実施施策



各施策の成果として誘客を実現

- プロモーション動画の制作
- YouTube動画広告の配信
- 公式観光HPにサイクリング特設サイト開設
- 松本駅サイクルステーションの整備
- 絶景めぐりルート、JapanAlpsCyclingRoadの整備
- e-BIKEのレンタル
- サイクリストに優しい宿の認定
- サイクリングオアシスの認定



3. 実施施策（地域の受入態勢の整備）

令和6年度～

サイクリストに優しい宿



サイクリストが安心して快適に宿泊できるよう、自転車の客室への持ち込みや、チェックイン前、チェックアウト後の荷物の一時預かり等、サイクリストの受入環境が整備されている施設を認定し、情報発信をしています。

【認定件数】

現状：21件 / 目標：30件

令和7年度～

サイクリングオアシス



サイクリストが気軽に立ち寄れるよう、トイレの貸出しや給水サービス等、サイクリストの受入環境が整備されている店舗及び施設を認定し、情報発信をしています。

【認定件数】

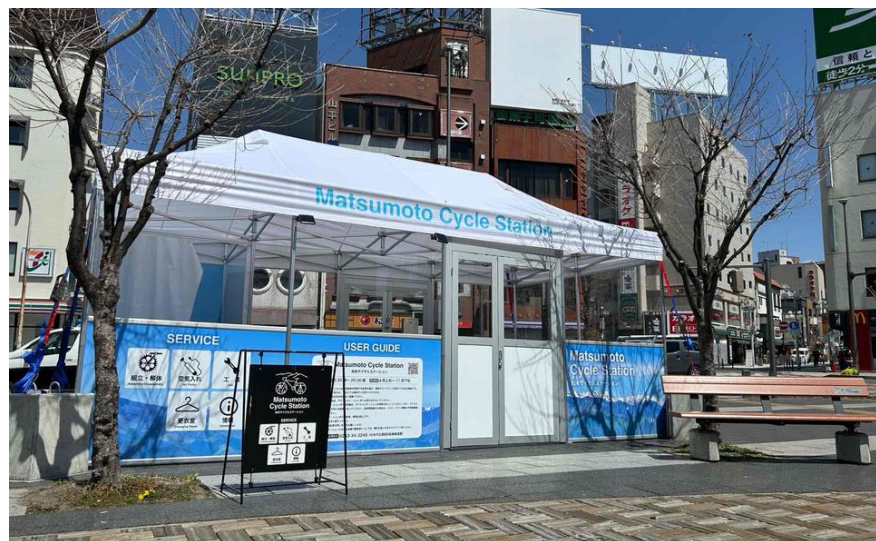
現状：20件 / 目標：30件



3. 実施施策（サイクリング環境の整備）

令和6年度～

松本駅サイクルステーション



電車やバス等に自転車を載せ、移動先でサイクリングを楽しむ方が、自転車の組立、解体、メンテナンス、着替えができるスペースを、松本駅前広場に設けました。自転車利用者であれば、誰でも無料で利用できます。

【利用者数】

令和6年度：3.7人/日(10月29日～12月13日)
令和7年度：5.3人/日(4月17日～11月30日)

令和6年度～

絶景めぐりルート、JapanAlpsCyclingRoadの整備



3つある観光サイクリングルートのうち、最も延長が長い「絶景めぐりルート（約30km）」について、分岐部等に路面標示を設置し、6か所の休憩スポットを整備しました。

県と連携してJapan Alps Cycling Roadの整備に取り組んでいます。

【JapanAlpsCyclingRoadの市道整備延長】

整備済 7.5km / 9.8km (整備率77%)
※未整備区間について、舗装の全面改修後の令和10年度に整備予定

令和7年度～

e-BIKEのレンタル



松本駅前において、スポーツタイプの電動アシスト付自転車「e-BIKE」のレンタルサービスを行っています。

シェアサイクルのアプリから利用できます。

【利用回数】

令和7年度：1.1回/日(5月1日～11月31日)



3. 実施施策（プロモーション）

令和7年度～

プロモーション動画の制作



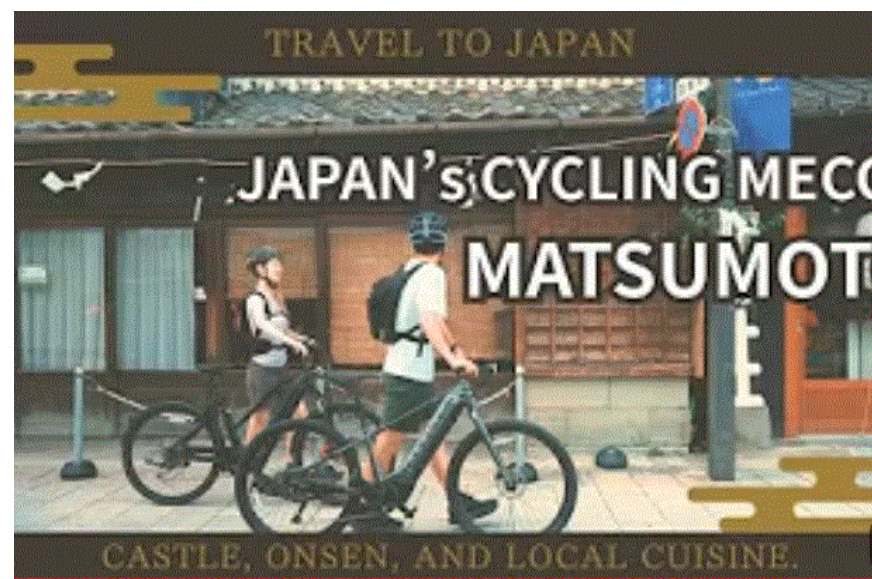
サイクリングに特化したプロモーション動画を、国内向け、海外向けに計3本制作しました。

【制作動画】

- 国内向け：30秒（配信用）
- 国内向け：180秒（完全版）
- 海外向け：90秒（配信用）

令和7年度～

YouTube動画広告配信



制作したプロモーション動画をYouTube動画広告として、国内外に配信しました。

【動画広告配信の視聴回数】

- 国内：約13万回
- 台湾：約8万回
- アメリカ：約14万回
- オーストラリア：約15万回
- タイ：約13万回

令和8年度～

公式観光HP サイクリング特設サイト開設



公式観光HP「松本旅のしらべ」内にサイクリングの特設サイトを開設しました。

【ページビュー数】

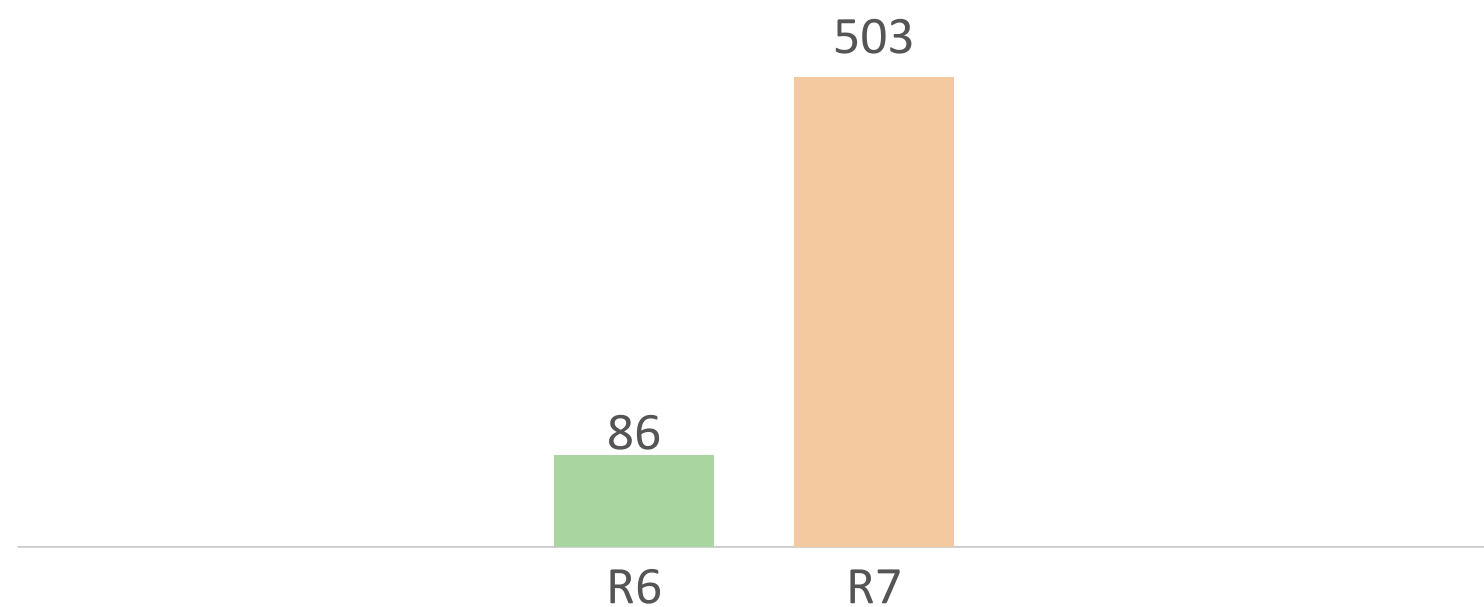
- 4月：156回
- 5月：272回



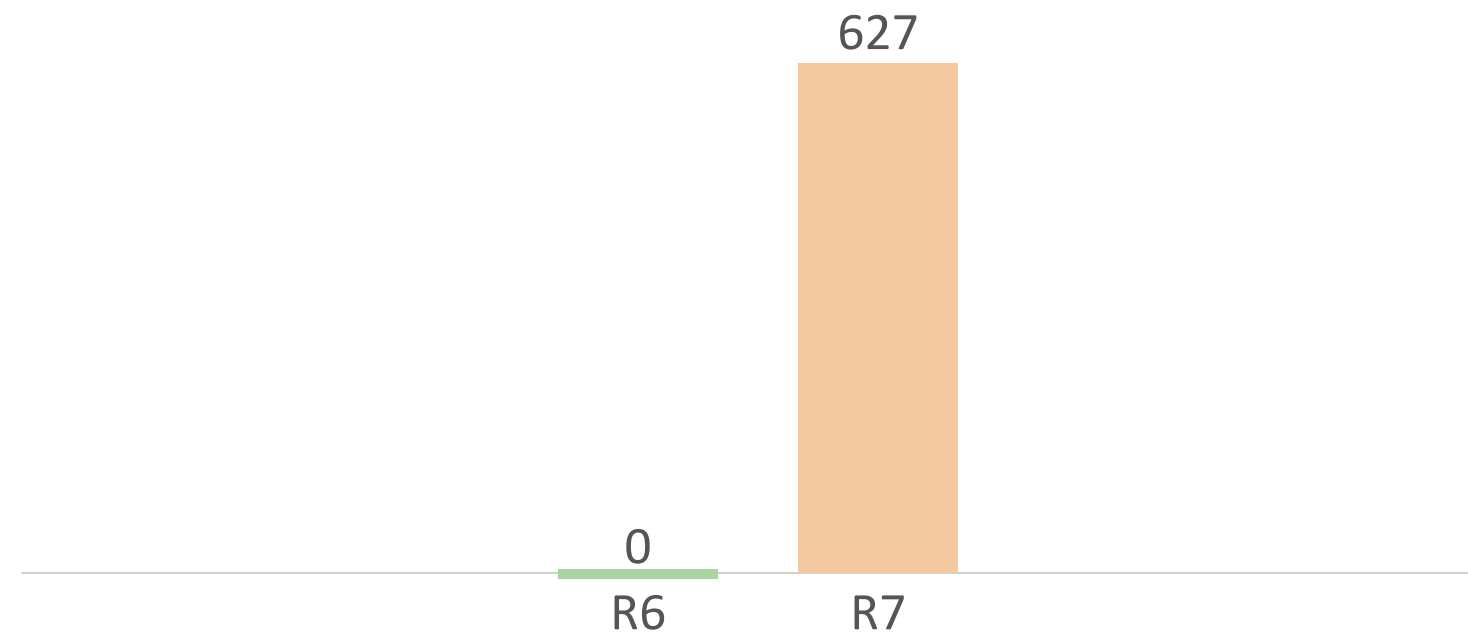
4. 成果



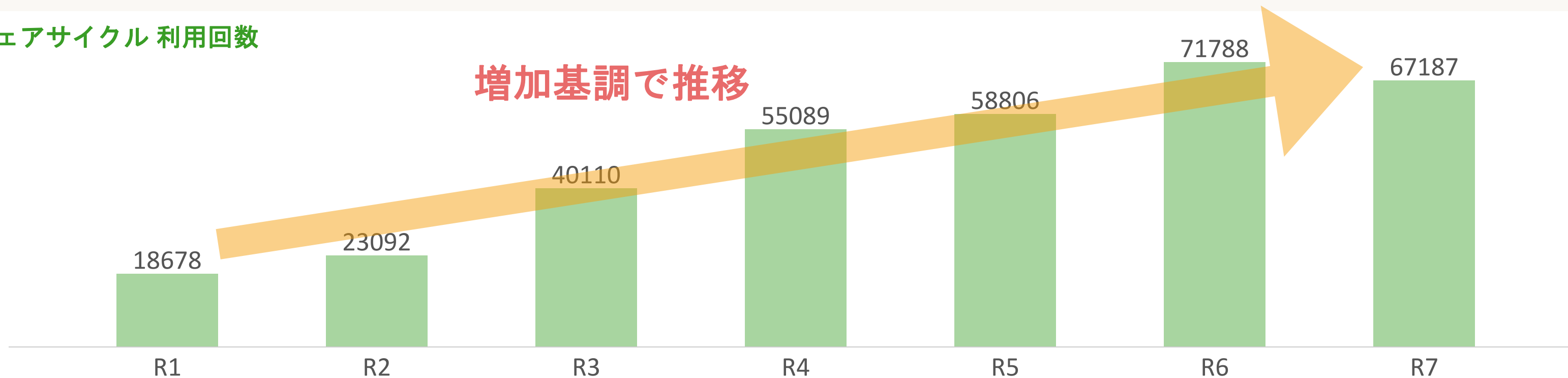
●サイクリストに優しい宿 サイクリストの宿泊者数



●サイクリングオアシス サイクリストの利用者数



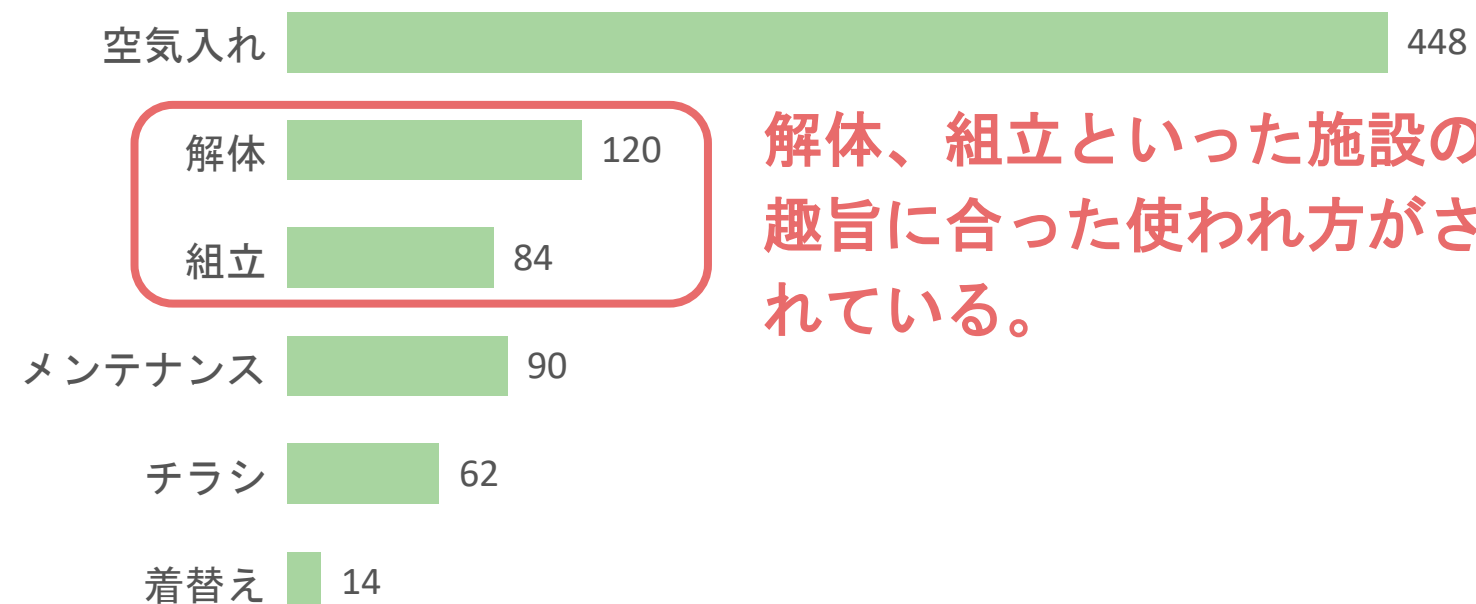
●シェアサイクル 利用回数



4. 成果

●松本駅サイクルステーション 用途別利用者数（R7）

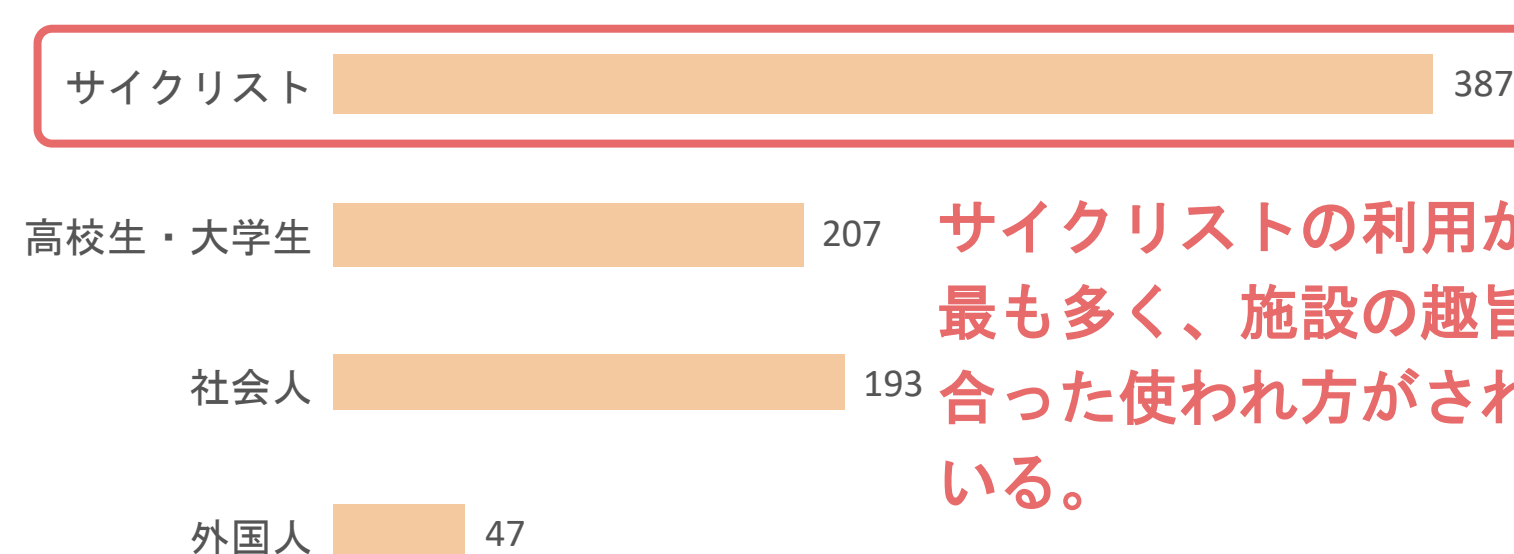
※防犯カメラの映像でカウント



解体、組立といった施設の趣旨に合った使われ方がされている。

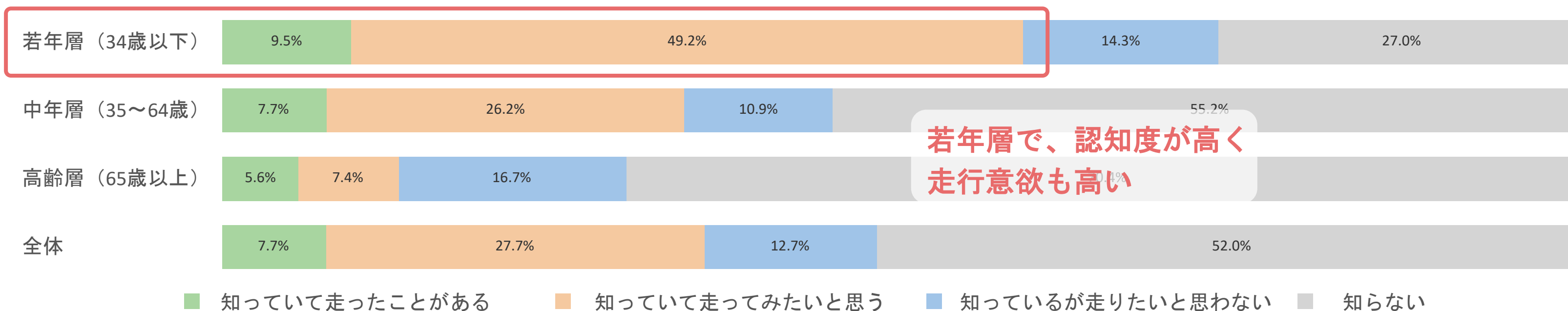
●松本駅サイクルステーション 利用者別（R7）

※防犯カメラの映像でカウント



サイクリストの利用が最も多く、施設の趣旨に合った使われ方がされている。

●観光サイクリングルート 認知度アンケート（R7）



若年層で、認知度が高く
走行意欲も高い



5. 課題



環境整備

- ・ 松本駅周辺や観光スポットのサイクリング環境の整備
(レンタサイクルやガイドツアー、自転車の預かりサービス)
- ・ 中心市街地で気軽に駐輪できるスペースの充実
- ・ 県と連携しJapanAlpsCyclingRoadの松本市域全線の整備



コンテンツ・情報発信

- ・ 多彩なサイクリングルートの設定
- ・ サイクリングツアーの造成
- ・ 市民が参加しやすい自転車イベントの実施
- ・ SNSやインフルエンサーと連携する等、多様なチャネルを活用した効果的な情報発信
- ・ 市民へのサイクリング文化の定着やサイクリストの誘客による地域ブランディング



サービス・連携

- ・ サイクリストに優しい宿、サイクリングオアシスの拡充
- ・ 近隣自治体を繋ぐサイクリングルートの設定等、広域的な自治体連携



インバウンド対応

- ・ サイクリングツアーの造成
- ・ 交通ルールの周知
- ・ シェアサイクルの利用手段の多様化 (ハローサイクリング以外のアプリからの利用)

6. 今後の展開

環境整備

- ・ 松本駅サイクルステーションの機能強化（駅ビルの改修に合わせてアウトドアの拠点整備を検討）
- ・ JapanAlpsCyclingRoad松本市域全線の整備推進
- ・ 中心市街地の駐輪スペース（ちょこっとパーキング）拡充

コンテンツ・情報発信

- ・ レベルや目的に合わせた多彩なルートの設定
- ・ 観光コンベンション協会等と連携した効果的なプロモーション
- ・ 観光コンベンション協会や民間事業者によるサイクリングツアーの造成
- ・ 市民参加型イベントの検討

サービス・連携

- ・ サイクリストに優しい宿・サイクリングオアシスの拡大
- ・ 近隣自治体と連携した広域サイクリングルートの検討

インバウンド対応

- ・ 外国人向けサイクリングツアーの造成
- ・ 交通ルール周知の強化
- ・ シェアサイクル利用手段の多様化（Limeのアプリ連携）

国内外のサイクリストから選ばれる
「サイクリングの聖地」を目指す



ご清聴ありがとうございました。
引き続き、サイクルツーリズム推進へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします！



松本市交通部自転車推進課

〒390-8620 長野県松本市丸の内3番7号 東庁舎4階
TEL.0263-34-3245 MAIL.jitensya-s@city.matsumoto.lg.jp

令和8年度 第1回松本「シンカ」推進会議

グリーンインフラの推進の取り組み



唐松(カラマツ)

この街の未来を育てる、まつもとの木

環境エネルギー部 森林環境課

1. 前回会議の振り返り(R5第3回シンカ会議配布資料より)

【グループ検討まとめ ①】 グリーンインフラの推進

既存インフラである里山を活かす

- 里山整備を通じた循環
 - ▶ 地元産材の利用促進 (住宅用建材、インクルーシブ公園の遊具、子どものおもちゃなど)
- 里山文化の活用
 - ▶ 若手農家との連携による情報発信、交流の場づくり
 - ▶ 里山の仕組みを専門的に学ぶ取組み
- 里山を観光資源と捉え県外にPR

まちなかでの取組み

- 緑や自然を感じながら休める場所・緑陰の整備
 - ▶ 「意図のあるベンチ」の設置
 - ▶ 空き家やオープンガーデンの活用を検討

ウォーキングマップや井戸巡りマップなどの他の情報とリンクさせて、エリア単位で活用・情報発信
賑わいにどうつなげるか
- 個店などがそれぞれ店先にプランターを設置
 - ▶ お店で使える野菜やハーブ、花などを無農薬で育てる

市民が関わるができる場
自然への理解を深めることができる取組み

持続可能性を高める仕組みづくり

- 市民が楽しみながら管理できるしくみの構築
 - ▶ 景観コンテストなど

自主的な管理やモチベーションアップにつながる
- 地元の学生やアクティブシニアなどの参画
 - ▶ 「体験」を得られるインセンティブ

2. 意見を踏まえた取組状況(令和6～8年度)

意見①

里山整備を通じた循環、例えば薪などを資源として活用する

取組状況①

薪・ペレットストーブ本体購入に要する費用の補助金(木質バイオマス循環事業)により導入を促進。(※年間約30件以上導入)
森林長期ビジョンを推進する市民団体の活動において、松枯れ材を正しく燃料として使う方法の講座を実施。(市民と森林をつなぐ事業)

意見②

地元産材を住宅建材として活用することで木を感じられる生活に繋がる

取組状況②

地域のカラマツ材(県産材)の使用し、住宅を新築・リフォームされる方に補助金(カラマツ販路拡大事業)を実施(※年間5件以上 年あたり約30m³の活用)

04 プロに聞く！失敗しない薪の使い方



日 時:3月8日(日) 9時～12時30分
場 所:四賀地区 松茸山荘別館 東山館 駐車場
参加人数:20人以上
内 容:
林業士の方から薪を正しく、安全に燃料として使う方法を講習いただきました。
四賀地区の松枯れの現状など伝えたくて、実際の松枯れ被害材を薪に活用することで、くらしと森林が身近にあることを参加者が感じられる機会を創出しました。



2. 意見を踏まえた取組状況(令和6～8年度)

意見③

里山整備に関して、教育、保育の一環で活用の仕方を考えてもよい里山の活用は、農業と一体的に考える必要がある。

取組状況③

森林長期ビジョンを推進する市民団体の活動において、子ども等の環境学習の場として、イベントを実施予定。また、奈川地区の暮らし(里山と農業の一体管理)を伝えるイベントとして開催(市民と森林をつなぐ事業)

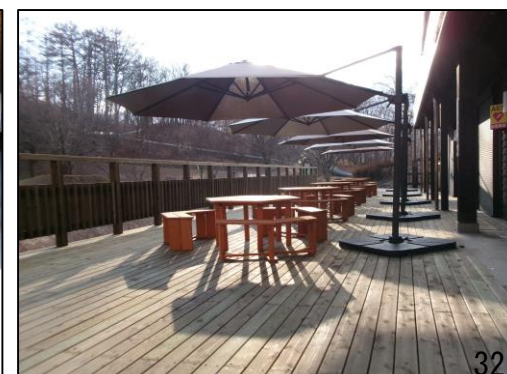
意見④

市の事業でもカラマツを使っていくことでもっと公的な信頼性が上がっていく

取組状況④

公共施設においてカラマツを初めとする地域材の活用を実施(担当課実施)

- ・松本駅観光案内所 木質化(カラマツ) R6
- ・松本市立博物館 木製ベンチ等(カラマツ) R6
- ・松本駅前、中町通りベンチ(ヒノキ・サクラ・クリ等) R7
- ・アルプス公園 ウッドデッキ(スギ・ヒノキ) R7
- ・四賀環境学習の森ウッドデッキ(アカマツ) R8 他公共施設でも活用予定



3. 課題・今後の展望について

主な課題

- ・主要樹種のカラマツは主に県外の合板工場へ流通されており、地域内利用は少ない。
- ・地域内流通に関する素材生産・木材利用等を総合的に調整する機関またはプラットフォームが必要 等

参考 地域材流通における提言について

市内で活動する川上から川下の各団体(林業事業体、製材・乾燥業者、設計・施工事業体)により組織された、松本市地域産材活用検討会議が発足。同年度に松本市地域産材の流通と活用に関する提言書を提出されました。(令和6年3月25日)

- ①地域産材を公共施設へ持続的に利用することによる地域内流通の促進
- ②地域産材の流通モデルの確立に向けて
- ③地域産材利活用に関するプラットフォーム(場:共通基盤)の創設
- ④地域産材に触れる場、学ぶ場の創出

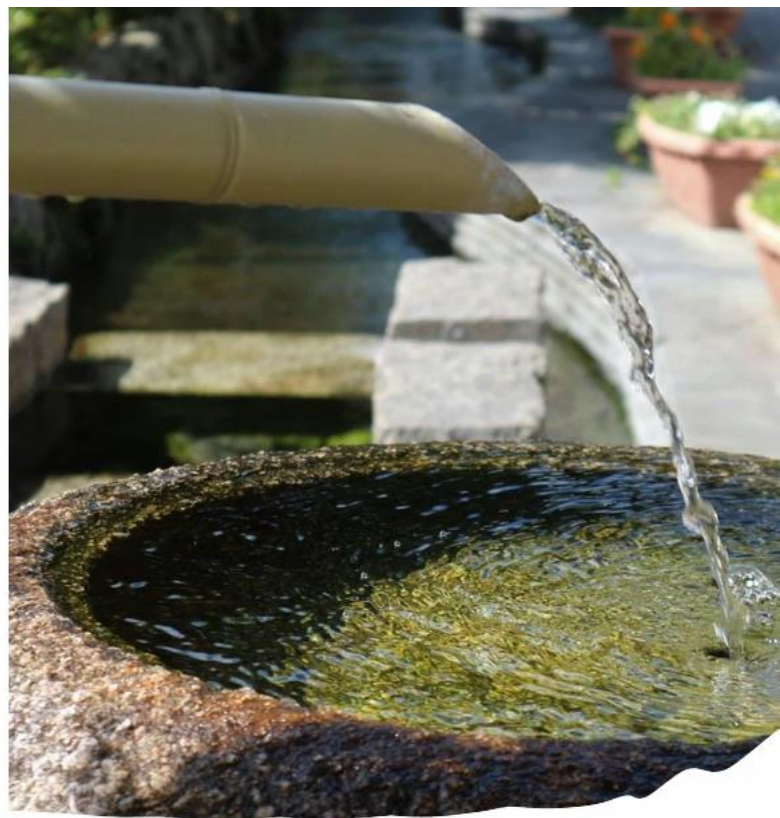
今後の展望について

提言書のうち①・④は実施中であり、今後も継続予定
②・③は令和8年度より新たな事業(森林林業循環型地域づくり事業)立ち上げ
事業期間3か年において流通モデル確立・プラットフォームの創設に向け取組予定

これにより、森林林業の持続可能な発展の足掛かりとしていきます。

令和8年度 第1回松本「シンカ」推進会議

グリーンインフラの推進の取り組み



出典：松本まちなかグリーンインフラアクションプラン

もっと心地よく、出かけたくなるまちへ

1. 前回会議の振り返り(R5第3回シンカ会議配布資料より)

【グループ検討まとめ ①】 グリーンインフラの推進

既存インフラである里山を活かす

- 里山整備を通じた循環
 - ▶ 地元産材の利用促進（住宅用建材、インクルーシブ公園の遊具、子どものおもちゃなど）
- 里山文化の活用
 - ▶ 若手農家との連携による情報発信、交流の場づくり
 - ▶ 里山の仕組みを専門的に学ぶ取組み
- 里山を観光資源と捉え県外にPR

まちなかでの取組み

- 緑や自然を感じながら休める場所・緑陰の整備
 - ▶ 「意図のあるベンチ」の設置
 - ▶ 空き家やオープンガーデンの活用を検討
 - 個店などがそれぞれ店先にプランターを設置
 - ▶ お店で使える野菜やハーブ、花などを無農薬で育てる
- ウォーキングマップや井戸巡りマップなどの他の情報とリンクさせて、エリア単位で活用・情報発信
- 賑わいにどうつなげるか
- 市民が関わることができる場
- 自然への理解を深めることができる取組み

持続可能性を高める仕組みづくり

- 市民が楽しみながら管理できるしくみの構築
 - ▶ 景観コンテストなど
 - 地元の学生やアクティブシニアなどの参画
- 自主的な管理やモチベーションアップにつながる
- 「体験」を得られるインセンティブ

2. 意見を踏まえた取組状況(令和5～8年度)

意見①

緑や自然を感じながら休める場所・緑陰の整備

「松本まちなかグリーンインフラアクションプラン」(R5年～10年)に基づく社会実験

社会実験①

体験をとおしてまちなかグリーンインフラを知ってもらうため、松本駅お城口広場と花時計公園に花木・樹木・ベンチを設置し、緑のくつろぎスポットを創出(R5年度)

社会実験②

「松本城三の丸エリアビジョン」の取組みとして、名店が集まる街のフードコート「みどり食堂」を開催。辰巳の御庭にウッドデッキ、日除けなどを設置(R5年度～R7年度)
→R8年度当初予算に「辰巳の御庭」設計委託料を計上



① R5 花時計公園 (社会実験)



① R5 松本駅お城口広場 (社会実験)



② R5 みどり食堂



② R6 みどり食堂

2. 意見を踏まえた取組状況(令和5～8年度)

意見①

緑や自然を感じながら休める場所・緑陰の整備

「松本まちなかグリーンインフラアクションプラン」(R5～10年)に基づく整備事業

取組状況①

松本城南の外堀大通りに、山と街の緑の循環を発信するベンチを設置(R6年度)

取組状況②

整備してから年数が経過していた、中町藤棚をリニューアル整備(R7年度)

取組状況③

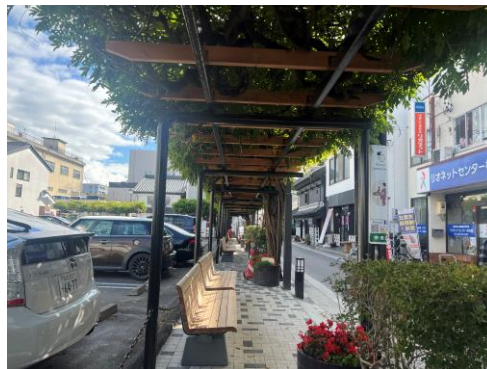
(一社)ユニバーサルデザイン研究会が、市内中学生が考案した「だれでもベンチ」を具現化・製作し、松本駅お城口広場に設置(R7年度)

取組状況④

まちづくり組織「三の丸エリアプラットフォーム」が、松本城南の外堀大通りにベンチとプランターを設置(R7年度)



① R6 外堀大通り
※ 松本市産の木材を使用



② R7 中町藤棚
※ ベンチ：長野県産
垂木：松本市産



③ R7 松本駅お城口広場
※ 松本市産の木材を使用



④ R7 外堀大通り

2. 意見を踏まえた取組状況(令和5～8年度)

意見② 意見③

市民が楽しみながら管理できる仕組みの構築
地元の学生やアクティブシニアなどの参画

「松本まちなかグリーンインフラアクションプラン」(R5～10年)に基づく取組み

取組状況①

伊勢町のせせらぎを維持管理していた商店街組合の解散を受けて、地元住民や店舗関係者、小中高生や市職員などが参加する、新たな形での清掃活動を実施(R5年度～)

取組状況②

県と連携し、あがたの森通りに日々関わりのある沿道事業者、地域住民などとともに計5回のワークショップを開催し、「あがたの森通り再整備計画(案)」を策定(R7年度)

取組状況③

「鯛萬の井戸」の清掃活動に取り組むボランティアの方と、井戸の維持管理やコミュニティとの関わりを研究する、法政大学野田准教授との意見交換会を実施(R7年度)

取組状況④

若者が地域に入っていききっかけを作る「松本若者地域アクションPJ」を始動。井戸を守り続けていくことへの課題を、実際に清掃活動をしながらか一緒に考える。(R8年度～)



① R5～ 伊勢町せせらぎ学校と協力し清掃活動実施



② R6～7 あがたの森ストリートデザインワークショップ



③ R7 鯛萬の井戸清掃ボランティア意見交換会



④ R8 松本若者地域アクションプロジェクト

3. 今後の取組スケジュール

「松本まちなかグリーンインフラアクションプラン」に掲げるロードマップ

取組展開のロードマップ ～5つの柱と22のアクション～

	STEP1(R5)	STEP2(R6～)	STEP3(~R10)
I 地域と進める「緑と花のシンボルストリートデザイン」	①検討組織の設置 ②歩道植栽帯に関する協定締結 緑と花で彩られた沿道空間の形成	③駅前広場の環境向上 ④落ち葉を活用した堆肥づくり	⇒取組モデルとして他の路線や地域へ展開
II まちを快適に楽しむ「緑と水のくつろぎ空間ネットワーク」	⑤くつろぎ空間ネットワークの構築 滞在性や回遊性を高めるくつろぎスポットの拡充	⑥グリーンシェードベンチの設置 ⑦緑のくつろぎ空間の創出 ⑧歩道空間の緑化推進 ⑨自然と風景を楽しむスポット創出 ⑩内環状北線くつろぎ空間づくり	⇒大小様々なくつろぎ空間の充実と回遊性の向上
III まちなかの水に親しむ「憩いの水辺空間づくり」	⑪井戸に親しみ、守る仕組みづくり ⑫伊勢町せせらぎ等の環境改善 ⑬水辺に親しむ機会の創出 心地よく親しめる水辺環境の創出	⑭水辺を楽しむ空間の創出 ⑮女鳥羽川の新たな魅力づくり	⇒憩いの水辺空間の充実と水辺の魅力発信を継続
IV 自然とともに歩む「安全・快適のまちづくり」	⑯浸透・貯留施設の活用推進 道路等への雨水浸透処理や雨庭施設の整備	⑰蒸発散効果による暑さ対策 ⑱雨庭を活用した雨水対策 ⑲防災ベンチの設置	⇒河川への雨水流入抑制等の取組みの定着と推進
V グリーンインフラで取り組む「ゼロカーボンの推進」	⑳環境学習機会の創出 ㉑ベンチなどへの木材の活用 グリーンインフラの活用によるゼロカーボンの推進	㉒壁面緑化等の都市緑化推進	⇒まつもとゼロカーボン実現計画の推進に寄与する取組みの継続